

7 福島県 いわき市立江名中学校 生徒会役員

発表者 いわき市立江名中学校 2・3年生 6名

発表タイトル

<争いのない平和な世界のために>

発表の内容

- ・ 世界で起きている様々な問題の解決を妨げるもののひとつに「無関心」があると思います。時間が経つことで忘れ去り、距離が離れると関心が薄くなり、経験してないと「他人事」と捉えてしまうのではないのでしょうか。
- ・ そこで私たちはいわき市、双葉町、広島市、長崎市の生徒500人を対象に、原爆や第二次世界大戦、原発や帰還困難地域などについてアンケートを実施しました。予想通り、距離が離れ、経験がないと「他人事」として捉える傾向があることがわかりました。
- ・ 福島では「風評被害」が今も人々を苦しめています。風評被害はいじめであり偏見です。それはまさに平和を妨げるものです。私たちはいじめや偏見を払拭するために、自分たちが経験したことや学んだこと、経験者から教えていただいたことを後世に伝えていく責任があると思います。

<平和のメッセージ>

今から70年前、世界中が戦っていましたが、そのまた70年前の140年前、福島では日本をふるさともつ人どうしが戦う「戊辰戦争」がありました。国内で戦争をやめることができたのなら、世界大戦からまた70年過ぎた今、世界から争いをなくし、世界中が手を取り合い同じ目標に向かって歩むことも可能ではないのでしょうか。「地球温暖化」など地球の存亡に関わる人類共通の大きな問題を抱える今、世界は争っている場合ではなく、解決のために力を合わせる時だと思います。

